

研究だより



授業を公開してくださったつばさの先生方、お忙しい中取り組みいただきありがとうございました。授業研究会で話し合われた内容と記録シートのご意見をまとめましたので、報告いたします。

● 研究授業の様子（写真）



学年協議より

学年	ほめほめポイント	もっと良くするよポイント
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験をもとに話せていた。 ・1年生も自分なりに考えることができていた。 ・視点がしぼられて発表しやすいテーマになっていた。 ・きまりという固いものじゃなく自分のこととしてとらえられていてよかった。 <p>→自分から出すことが大切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次自分はこちらをがんばるということを決めた姿がすばらしい 	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションのしきり ○ ・交流でおとなしい子がいきいき ・声の大きさ 1人ひとりに合わせてこそっと言ったり ・名前の書いた花丸、がんばるステッカー ・Aくん声の大きさのめあてを持って発表できている ・目指すものがはっきりしている。 ・カードの支援、手立て◎ ・レベル1で発表するかレベル2か自分で選ぶことができる ・禁止事項ではなく、したらいって肯定的な表現 ・自分なりに頑張ってる書こうとしている ・ひらがな表の用意 ・その子に合わせたかけ引き。 ・画像がなくても字だけで集中してできていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばりたいことは今後も継続してできたか振り返りをしていく
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・どの子も自分の意見をしっかり言っていた。レベル②を目指して言おうとする意欲が見えた。 ・机の配置がとても良かった。落ちつきが見られ、こどものことをよく考えていた。 ・パーティションが大きいなど、それぞれの学級での工夫が見えた。 ・人の意見と自分の意見を交流に1つの意見にしていったことはすばらしい、 ・1人1人の場と「体の場」が見られ、学級としての機能をはたしていた ・めあての掲示の仕方がとても良かった。 ・Aさんの発表の後、足どりが軽く、すてきだった。 ・掲示物が効果的で、自然に学級交流が行われていた。「きまり」では、自分がまれている「きまり」を言うことによって、自分の肯定感を高めていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの子も自分なりの意見を言っていたが、それができない時、担任としてどう支援したらいいか、教えて欲しい。 ・「もっと意見がないですか？」の先生の問いに、「ぼく考えてやったのに!」というささやきがあった。ここが話し合う意義だと思うので、ここをどうおさえたか気になった。

4年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちができているかどうかを振り返りながら瀬田北のきまりについて考えることができていた。 ・学年が異なる児童がいるなかで、担任が一人一人の子どもに寄り添って学習が進められていた。 ・児童本人に発表のレベルを選ばせるところが、本人のできたの気持ちや自信につながっていて良かった。 ・クラスの発表の仕方の工夫 型を作っているもの ○○とあな抜きに合わせて発売 できるようになっているもの ・理由を考える→「なんでやろう?」という展間にもっていく流れ◎ 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> ☆自分たちの実体験をもとに、発達段階もそれぞれなので、テーマ良かった。 ☆テーマは分かっているけど、きまりが分からない児童には、良い写真、悪い写真見せて、分かるようにする。 ★低学年から選んで、発表ができるようにしていた。 ☆自分の言葉でかけていた。積み重ねが大切!! ☆自分ごととして考えられていた。 ☆黒板1つの掲示物勉強になった。 ☆色々なツールがあって、その子にあった学習方法の勉強になった。 ☆フラッシュカードでも、分かりやすく!!なっていた。 ☆考える時間が大切!! ☆発表のレベルカード良かった。→自分でも分かるレベルUP↑↑ 	<ul style="list-style-type: none"> ・きまり? 自分たちが守っていききたいこと? ・自分たちで決めたことをこれから守っていけるようにしてほしい。 ・学級でも、30通りの支援がいる。色々なやり方。でも、取捨選択をしながら、やっていく必要があるのががんばります!!・
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・実体験をもとにした場面で子ども達もイメージしやすかった。 ・レベル分け◎ ・ラミネートにホワイトボードマーカーで書いたり消したりできる。 ・聞く側の姿勢の価値付け(あいづち、反応) 	<ul style="list-style-type: none"> ・注意をひきつける。(具体物) ・チャイムがなったらすぐ動く。チャイムが鳴らない場合は? 移動時間でどっちにしろ遅れる。 ・聞く子の姿勢、反応の仕方対話のようになっていくには・・・ リボイス(くり返す)(つけたす) ・けいせんか白紙かは子ども達に決めさせる方がよい。

学年協議の様子

